

始 START

いよいよ
始まる！ 可燃ごみ民間委託

議員の
聴く×つなぐ

町立学校再編計画
いよいよ
動く！

注目の2事業にみる

新年度からスタートする可燃ごみ処理の民間委託と町立学校の再編計画。今回は取材企画として編集委員がそれぞれの多くの住民の皆さんも注目している

町の展望は

これまでの可燃ごみ処理との違いは？ 学校の統廃合は順調に進むの？ 施設に向いて直接お話を聞いてきました。下記2事業を議会目線で切り込みます！！

動 MOVE

可燃ごみを再エネ利用

現状のごみ処理施設の老朽化に伴い「可燃ごみ」処理の在り方を協議し、オリックス資源循環株式会社に10年間民間委託することになりました。

Q 「乾式」メタン発酵のメリットと施設の概要は

A 「可燃ごみ」を焼却処理せずにエネルギーとして活用することで、CO₂排出量低減と4R推進で循環型社会に貢献。施設規模は国内最大級、さらに乾式メタン発酵は関東圏では初めての施設となります。

乾式メタン発酵…紙ごみや生ごみ等をメタン発酵してエネルギー化する方式。

Q 分別することのメリットは

A 処理費用を支払ってごみ処理を委託するため、正しく分別して発酵に適さないごみを取り除き、量を減らすことにより、町が負担する処理費用を軽減することができます。

Q ごみ「分別」等の注意点は

A 現在の「可燃ごみ」を有効活用するものですが、プラスチック類などの不適物の混入を11%以下に、草木に関しては最長辺40cm太さ3cm以内を厳守、衣類などの布は不可です。従来の「燃えるごみ」の認識ではなく「バイオマスごみ」や「エネルギーごみ」といったように意識を変えていただくことが大切です。

今後どうすればよいのかしら。集積場所に、一時的に看板を出すなどして、分かりやすくしてほしいです。
(高瀬咲さん・大関町)

ごみを減らすことは町の負担を減らすことなのですね。
(内田礼子さん・大塚一)

分別の周知



住民の皆さんに、可燃ごみ処理委託や分別方法の一部変更について、十分に伝わっていない状況です。町は早急に区長、環境美化推進委員に説明するなどして、周知を図ることが必要です。また、委託については中期的な視野に立つての取組であり、今後、委託の現状を踏まえ、10年後を見据えた「ごみ処理」について検討を継続していくことが大切です。

4R…Refuse「リフューズ（ごみになるものを断る）」、Reduce「リデュース（抑制する）」、Reuse「リユース（再利用する）」、Recycle「リサイクル（資源として再利用する）」

東小川小学校の統合

令和4年度から町立小・中学校短期再編計画に基づいて東小川小学校と小川小学校が統合されます。

期待と不安



宿題

今回の再編によるスクールバスの導入は、東小川小学校だけではなく、小川町全体の課題です。以下の内容について皆さんはどう考えますか？

1, 利用料の受益者負担

1世帯あたり月額実質1000円？

4, 他の小学校の遠距離通学

下里・高見・西古里・腰上・木呂子などは？

2, 乗降時と車内の安全

添乗員さんはどうなるの？

5, 町の財政負担

スクールバス1台あたり
年間1200万円(210日稼働)

3, 緊急・災害時の対応

スムーズに対応できるの？



注視していきます



東小川小学校と小川小学校の統合を皮切りに、他の町立学校の再編が動き出します。町民の声に耳を傾け、スムーズな再編計画がスタートすることを期待します。子ども達にとって望ましい教育環境の整備を図るため、今後も議会は注視していきます。

揺れる想い 新たな希望

キーワード
4R推進で
循環型社会

キーワード